

岡山大学法学部だより

※ 本メールは登録された方にものみお送りしています

第 12 号(2010 年 10 月 7 日発行)
発行：岡山大学法学部 学部長室

後期の授業も始まり、キャンパスに学生の姿が戻ってきました。法学部だより第 12 号をお届けします。

今回は、今月 23 日に開催される第 3 回法学部ホームカミングデーのご案内を改めてさせていただきます。教員紹介は、刑法担当の塩谷先生と一原先生をご紹介します。コラムはパラグアイからの留学生、ロドリゴ・バスケスさん、イギリスでの留学体験記を朝原 美徳さんにお願ひしました。

目次

- 法学部ホームカミングデーへのお誘い
- 法学部教員紹介
- 留学生の声 ～Voice of Foreign Students～ (第 2 回)
- 岡大生の大冒険～ロビンフッドの町で学んで～ (第 3 回)
- 法学部からのお知らせ
- 最近の話題

-
- 法学部ホームカミングデーへのお誘い
-

すでに何度かご連絡をしていますが、10月23日(土)午後3時から、下記の要領で、第3回の法学部ホームカミングデーを開催します。法学部ホームカミングデーは、卒業生の皆さんに1年に1度母校を訪ねていただき、母校の現在を知っていただくとともに、久しぶりに懐かしい友や恩師と旧交を温めていただく機会を提供したいと考え、2008年に第1回を開催しました。昨年の第2回は、法学部創立60周年記念として開催し、現役学生を含め、のべ200名を超える参加者がありました。今年は、1980年に法文学部が分離改組し、法学部が単独で設置されて30年を迎えます。法学部のホームカミングデーの特色は、現役の学生にも参加を呼びかけていることです。これは、現役の学生にとっては、様々な先輩と接することで、自らの将来の進路を考える切っ掛けとしてもらいたいということと、卒業生の皆さんに対しては、現在の学生を通じて、今の法学部を知っていただくことができるのではないかと考えたからです。

今回のホームカミングデーも、多くの新たな出会いの場になることを期待しています。どうかお誘い合わせの上、ぜひ気軽にご参加下さい。

法学部長・法学会会長 佐野 寛

記

日時： 10月23日(土) 午後3時～午後5時半
場所： 文化科学系総合研究棟 2階 共同研究室

プログラム

1. 法学部長挨拶
2. 講演：小畑 隆資 名誉教授
法学部 30年 ―法学教育と教員組織の変遷を中心に―
3. 法学部の教育・研究から

懇親会： 午後6時～午後7時半 マスカットユニオン 3階
(参加費1000円 在学生は無料)
(問合せ先 法学部長室 (担当：柏原) 電話：086-251-7470)

○ 法学部教員紹介

☆ 塩谷 毅 (しおたに たけし) 教授

法学部で刑法を担当しております塩谷です。

岡山大学に2000年4月に赴任し、今年で11年目になります。赴任したときはちょうど30歳で、そのときは法学部で2番目に若い先生だったのですが、この間多くの若い先生が来られましたので、現在私より若い先生は法学部で10人以上おられます。41歳になり、今年は何年にあたりますので、いろいろ気をつけています。

刑法の授業は、偏りができるだけ無いように、計画的に淡々と進めていきます。あまり板書をせずに、授業時間いっぱいひたすら話し続けます。私自身はいわゆる結果無価値論の先生ですが、(当然のことながら)行為無価値論をとる学生が不利になるというようなことは一切ありません。中富先生も書いておられますが、実定法系の単位認定が厳しいといわれる中で、私は「私の塩谷」を当面続けていくつもりです。

私の趣味は旅行で、特に南の島が大好きです。真っ青な空とエメラルドグリーンの透明な海、カラフルな珊瑚礁と熱帯魚を求めて、モルディブや沖縄などによく行きます。私の研究室には世界各国の旅行のおみやげが並んでいて、他の先生方の研究室とずいぶん雰囲気異なります。興味がおありの方は、気軽に研究室を訪ねてください。

☆ 一原 亜貴子 (いちはら あきこ) 准教授

法学部で刑法を担当しております一原です。昨年10月に岡山大学に赴任して以来、ちょうど1年になります。私は奈良県で生まれ育ち、前任校にいた4年半は北海道の小樽市に住んでいました。今夏は記録的な猛暑でしたが、徐々に本州で夏を迎えた私には、今年の暑さは特に堪えました。小樽ではエアコンも扇風機も使わなかった、と言えば、この落差をおわかり頂けるでしょうか。(ついでながら、私が前任校に赴任した年、小樽では十数年ぶりの大雪が降りました。一部で、「異常気象を招く女」と呼ばれているとかいらないとか。)

さて、刑法という法律のイメージからか、刑法学者はなんだか厳しそう、怖そうと言われることがあります。しかし、刑法は他の規範による法益の保護では不十分な場合に初めて発動される「究極の手段」であり、あくまでも他の規範を補充すべく第二次的に用いられるものです。ですから、刑法学者の端くれである私のセルフイメージは、謙抑的で控え目、です。もっとも、刑法はいったん発動されると、「最も峻厳な制裁」を科することになるのですが。

○ 留学生の声～Voice of Foreign Students～ (第2回)

Unforgettable Days in Okayama University

Four years ago, I left my home country, Paraguay, to pursue a personal dream. I always wanted to obtain the undergraduate degree from a foreign country. Fortunately, I was awarded with a scholarship by the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology to realize my dream. Currently, a semester away from graduation, I look back and realize what a great journey it has been.

I chose to enter Okayama University because throughout Japan it is an academically respected institution and also because I heard good things from my previous teachers and friends. However, it was not until I arrived to Okayama that I started to appreciate it. The University is in a great location. It is only ten minutes away by bicycle from the city center. It has a wide variety of shopping and entertainment areas. Thus, the university is perfect for the student life.

My first year in Okayama was very challenging. Everything was new, especially the fact that everything was in Japanese. Before entering Okayama University, I studied Japanese for a year in Osaka. However, I was not sure if my Japanese would be sufficient at academic level. At the beginning, it was hard to get accustomed to the classes and the professor's teaching styles. However, I gradually became familiar with the system and began to enjoy learning. Furthermore, professors at Okayama University are very well qualified and they were very supportive when I had questions or problems.

During school holidays, I was able to visit many places around Japan. I took bicycle trips to Tottori and Nagasaki. It was an amazing life experience I would always remember. I also went on a car trip with some friends around Shikoku. In addition, I had the chance to travel to other countries in Asia such as Thailand and Vietnam. These experiences helped appreciate more the Japanese and Asian culture.

In the future, I am planning to return to Paraguay and work for the Foreign Ministry. However, before returning, I am planning to extend my stay in Japan for two more years in order to obtain the graduate degree. Lastly, the University of Okayama has endowed me with knowledge and expertise that contributed to my development in becoming a well-qualified international-minded professional, prepared to collaborate with my country's growth. I will never forget my life in Okayama University!

Rodrigo Vazquez

○ 岡大生の大冒険～ロビンフッドの町で学んで～ (第3回)

今回は、イギリスの大学院における勉強についてお話しさせていただきたいと思います。私の場合、1年間に合計8科目を履修しました。

1回の講義は2時間で、前もって渡されたレジュメに沿って議論する形で進みます。そのため、レジュメに挙げられた文献を事前に読んでおかなければなりません。講義は週4回しかありませんでしたが、他の時間はほとんどリーディングに費やされていました。また、必要に応じて、ビデオ観賞やグループディスカッション、プレゼンテーション、ゲストスピーカーによる講演会なども行われます。これらの授業を通して、世界各国からの学生と意見を交わしたり、実際に国連で活躍されていらっしゃる方のお話を聞く機会にも恵まれたりと貴重な経験をすることが出来ました。

また、大学院の授業以外にも、大学が留学生向けに無料で開講する英語の授業を週数回受けるようにしていました。ただ、英語の勉強に関して言えば、図書館やカフェで、周りの会話を聞くのが一番勉強になっていたような気がします。このような語学の学習ができることは、海外生活の醍醐味かもしれません。

朝原 美德

○ 法学部からのお知らせ

☆講義棟の改修工事が始まります。

法文経の講義棟の改修工事が始まります。工事の関係で、後期の授業の時間割・講義室が大幅に変更になっています。在校生の皆さんは十分に確認してください。

☆第6回ジュニアロースクール岡山が開催されます。

中学生・高校生のみなさんの参加をお待ちしています。

日時：2010/11/13(土) 13:00～17:00

場所：岡山大学一般教育棟D棟6階大会議室

対象：中学校2・3年生、高校生 100名(先着順) 申込締切は11月5日(金)

内容：

1. まちづくりと住民相互の利害調整を考えよう～福山市鞆の浦景観訴訟
2. 刑事模擬裁判「介護疲れ殺人事件～被害者の同意の有無を判断しよう」

<http://www.okaben.or.jp/gyouzi/20100820.htm>

○ 最近の話題

☆第2回研究フォーラムが開催されました。

9月29日(水)に、今年度第2回の研究フォーラムが開催されました。今回は、藤内和公先生に「ドイツにおける従業員代表制」と題して話題提供をしていただきました。当日は、20名近い教員が参加し、意見交換を行いました。

☆平成22年度前期卒業式が挙行されました。

9月30日(木)、岡山大学素創立50周年記念館にて平成22年度岡山大学卒業式・大学院学位授与式が挙行されました。法学部は9名の皆さんが卒業されました。卒業生の皆さんには、卒業式後、法学部長室で佐野法学部長から一人一人に卒業証書が手渡されました。卒業生の皆さん、本当におめでとうございました。

☆学会報告

神山弘行准教授が租税法学会第39回(10月2日 於 東海大学)で、研究報告を行いました。

大会テーマ：所得税制の最近の動向

担当テーマ：アメリカ所得税制の最近の動向と課題

・本メールマガジンは、岡山大学法学部に関する情報を提供する目的で毎月2回程度配信されています。・岡山大学法学部の詳細情報に関しては、HPも併せてご覧ください。岡山大学法学部 HP <http://www.law.okayama-u.ac.jp/>

・本メールマガジンには返信なさらぬようお願いいたします。・本メールマガジンの配信を希望しない場合やメールアドレスの変更を希望される場合には、以下のURLからご登録・解除ください。

<http://court.law.okayama-u.ac.jp/mail/register.html>

・ご意見・ご感想のある場合は、岡山大学法学部 情報委員会

joho@law.okayama-u.ac.jp までお願いいたします。